

# 2008 年 IEEE 東京支部 総会資料

2008 年 3 月 17 日

IEEE 東京支部

<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

## 2008年IEEE東京支部総会

### 総 会

日 時： 2008年3月17日(月) 14時00分～14時30分

場 所： 東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
アイビーホール青学会館 4階 クリノン

議 事：

1. 開会の挨拶
2. 役員の紹介
3. 支部長挨拶
4. 2007年活動報告
5. 2007年会計報告
6. 2008年活動計画報告
7. 2008年予算案承認
8. 閉会の挨拶

### 講 演 会

日 時： 2008年3月17日(月) 14時30分～15時30分

場 所： 同 上

講演者： 川人 光男氏 (ATR脳情報研究所 所長)

演 題： 「脳とロボット」

### 新Fellow表彰式

日 時： 2008年3月17日(月) 15時40分～17時00分

場 所： 同 上

### 懇 親 会

日 時： 2008年3月17日(月) 17時20分～19時00分

場 所： 同上

## I 2007/2008年IEEE東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	青木 利晴	(NTTデータ)
Vice Chair	副支部長	田井 一郎	(東芝)
Secretary	セクレタリ	菅原 勉	(東芝)
Treasurer	トレジャラ	橋本 秀紀	(東京大学)

### 2. 理事会メンバー

青木 利晴	(NTTデータ)	栄藤 稔	(NTTドコモ)
田井 一郎	(東芝)	井家上 哲史	(明治大学)
菅原 勉	(東芝)	原島 文雄	(東京電機大学)
橋本 秀紀	(東京大学)	花輪 誠	(日立製作所)
山下 幸彦	(東京工業大学)	林 秀樹	(住友電機工業)
井筒 雅之	(情報通信研究機構)	竹内 精一	(東京電機大学)
横山 明彦	(東京大学)	南 隆敏	(富士通研究所)
羽鳥 好律	(東京工業大学)		

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	山下 幸彦 (東京工業大学)	田中 聡久 (東京農工大学)	平野 拓一 (東京工業大学)
Fellow Nominations	井筒 雅之 (情報通信研究機構)	井上 宏明 (日本オプネクスト)	川西 哲也 (情報通信研究機構)
Membership Development	横山 明彦 (東京大学)	田中 秀郎 (ビスキヤス)	大崎 博之 (東京大学)
Nominations	羽鳥 好律 (東京工業大学)	黒澤 馨 (茨城大学)	久保田 彰 (東京工業大学)
Technical Program	栄藤 稔 (NTTドコモ)	末松 憲治 (三菱電機)	滝田 亘 (NTTドコモ)
Publications	田井 一郎 (東芝)	菅原 勉 (東芝)	庄木 裕樹 (東芝)
Student Activities	井家上 哲史 (明治大学)	山中 直明 (慶応大学)	森岡 一幸 (明治大学)

## II 2007年東京支部活動報告

### 1. 支部総会

2007年3月19日(月)、午後2時から青学会館4階 クリノンにおいて開催された。総会に引き続き、2007年新 Fellow の証書伝達式及び、表彰式が行われた。

### 2. 支部理事会

第1回 3月19日(月) 青学会館 出席者 10名

- ・ 2006年第4回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2006年決算報告及び監査報告(報告)
- ・ 2007年予算案(報告)
- ・ 支部推薦2008年Fellow候補者
- ・ 2007年総会資料(審議)

第2回 6月25日(月) 東芝本社 出席者 12名

- ・ 2007年第1回理事会議事録の確認(審議)
- ・ Region 10 Meeting 参加報告(報告)
- ・ 第1回Japan Council 理事会議事録(報告)
- ・ 2007年FNC活動計画(報告)
- ・ 2007年SAC活動計画(報告)
- ・ 日本特許出願における新規性喪失の例外適用(30条)に関して

第3回 10月10日(水) 東芝本社 出席者 9名

- ・ 2007年第2回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2007年東京支部レポート(報告)
- ・ 2007年8月末会計報告(報告)
- ・ Fellow Nominations Committee 活動報告
- ・ 第2回Japan Council 理事会報告(報告)
- ・ Region 10 Meeting 立候補にあたっての検討事項

第4回 12月10日(月) 東芝本社 出席者 12名

- ・ 2007年第3回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2007年活動報告および2008年活動計画案(審議)
- ・ 2007年決算予想および2008年予算案(審議)
- ・ 2007年Fellow Nominations Committee 活動(報告)
- ・ 2007年第2回Student Activity Committee 活動(報告)
- ・ Japan Council 活動報告(資料無し)

- ・ 2008年総会について
- ・ Region 10 Meeting

### 3. 支部主催講演会

(1) 3月19日(月) 青学会館 4F 「クリノン」 参加者 44名  
 「ハイブリッドカー・プリウス開発から得た学び」  
 朝倉 吉隆氏 (トヨタ自動車株式会社 HVシステム部 主査)  
 (2007年はトヨタ自動車株式会社が IEEE Corporate Innovation Recognition Medal を受賞しました)

(2) 11月22日(木) 弘済会館 4F 「梅の間」 参加者 27名  
 『プラズマテレビにかけた夢』  
 「IEEE 名誉会員賞受賞に至った、カラープラズマディスプレイの技術開発経緯と  
 それにまつわるエピソードを述べ、プラズマディスプレイ関連技術について述べる」  
 篠田 傳先生 (篠田プラズマ株式会社 代表取締役会長、広島大学大学院 教授)  
 2007 IEEE Honorary Membership (IEEE 名誉会員賞) 受賞者

### 4. その他の会合

(1) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月19日 青学会館 2階 シャロン  
 参加者: Award 受賞者、2007年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 35名

#### (2) 2007年 Region10 Meeting

参加者: 本部関係者、Region10 関係者、Council / Section 代表 他 計 101名

東京支部代表出席者: 菅原 Secretary、橋本 Treasurer

日本からのその他の参加者: 荒木、堀田、菊野、井上、大久保、真田、中川、生越、佐藤 (敬称略)

### 常設委員会の活動

- ・ Fellow Nominations Committee  
 「2009年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長エンドースメント発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部事務局より発信した。
- ・ Technical Program Committee  
 上記4項に示す講演会を企画実行した。
- ・ Publications Committee  
 会員への情報サービスとして、「IEEE Tokyo Bulletin」を発行し、東京支部の全会員にメール配信すると共に、支部のホームページに掲載した。
- ・ Student Activities Committee  
 (1) 2007年度 IEEE 学生ブランチャリーダーシップワークショップ (京都大 10月20日) への派遣の支援

国内の学生ブランチ(全 17 ブランチ)の代表者が集まって活動報告を行った。東京支部管内の学生ブランチ(東京電機大学・横浜国立大学・東京工業大学・武蔵工業大学・慶應義塾大学・明治大学)から 12 名が参加し、旅費の支援を行った。

(2) 第 4 回 IEEE Tokyo Young Researchers Workshop (東京工業大 12 月 7 日) への支援  
東京工業大学学生ブランチが全国のブランチと協力して企画運営するポスター発表会が東京工業大学大岡山キャンパスで開催された。

以上

### III 会員の状況

#### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1999	6,693		0	255	410	5,097	689	242
2000	6,961	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-0.26	2	334	451	5,722	491	560

略号： HM: Honorary Member      F: Fellow      SM: Senior Member  
M: Member      A: Associate      St: Student

#### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1964	666		1	8	105	302	99	151
1969	1,106		1	18	140	642	107	198
1971	1,207	2.37	1	25	153	791	112	125
1976	2,095	9.40	-	51	182	1,557	100	205
1981	3,106	9.21	-	91	245	2,453	128	189
1986	4,573	7.63	1	153	346	3,654	241	178
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	1.33	4	505	754	9,749	757	1,364

注：Affiliate会員は含まない。

# IV 2007年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決 算 (1/1～ 12/31)	対予算 (%)	備 考
<b>収入の部</b>				
《東京支部》				
◆IEEE 本部勘定	19,250,000	19,397,973	101	予算は US\$1=¥110を適用
・支部レポート	3,080,000	3,567,754	116	US\$ 29215.15@¥122.12=3,567,754 (2007/6/28)
・Section Assessment	16,170,000	15,830,219	98	前期：US\$102,466@¥117.0 後期：US\$33,707.181@¥113.97
・その他	-	-	-	
◆雑収入	5,000	45,213	904	受取利息
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
<b>収入合計</b>	<b>19,255,000</b>	<b>19,443,186</b>	<b>101</b>	
<b>支出の部</b>				
《東京支部》				
◆Councilへの拠出金	16,170,000	15,830,219	98	前期：US\$102,466.77@¥117.0 後期：US\$33,707.181@¥113.97
◆会合費	1,350,000	941,499	70	
・総会費	700,000	684,971	98	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	180,228	72	会場費
・理事会費	100,000	7,350	7	交通費/通信費を含む
・その他会合費	300,000	68,950	23	本部VIP来日対応
◆Committee活動費	300,000	-	0	
◆Student Branch支援費	1,000,000	842,550	84	東工大特別セミナー/Tokyo Young Reserchers Workshop/Student Branch Workshop旅費
◆事務局設備費	100,000	2,516	3	
◆ITサービス運用費	1,000,000	1,023,120	102	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	17,436	44	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	277,795	79	前年度監査費用、銀行手数料等
◆信越支部設立支援金	500,000	726,261	145	
◆予備費	500,000	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>21,310,000</b>	<b>19,661,396</b>	<b>92</b>	
<b>収支</b>	<b>-2,055,000</b>	<b>-218,210</b>		
◆前年度繰越金	11,189,071	11,189,071	100	
◆次期繰越金	9,134,071	10,970,861	120	



# 財産目録

単位：日本円

科 目	2007年12月31日	2006年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金(A)	10,950,861	11,169,071
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	27,668,862	27,887,072
◇その他流動資産	0	0
流動資産合計：	27,668,862	27,887,072
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品	3,853,815	3,853,815
◇減価償却累計額	(3,681,412)	(3,587,374)
固定資産合計：	318,003	412,041
資産合計：	27,986,865	28,299,113
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計：	0	0
3. 正味財産	27,986,865	28,299,113
負債および正味財産合計：	27,986,865	28,299,113
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
◇支部リベート	3,567,754	3,887,206
◇Section Assessment	15,830,219	17,004,354
◇その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	-
◇受取利息	45,213	4,799
◇信越支部設立資金		228,760
◇雑収入(B)		1
収益合計：	19,443,186	21,125,120
II. 費用の部		
◇会合費	941,499	1,145,060
◇Publication Expenses		3,000
◇Student Branch支援費	842,550	1,100,350
◇Japan Councilへの拠出金	15,830,219	17,001,854
◇事務局費および一般管理費	1,320,867	1,432,490
◇50周年記念費		469,000
◇減価償却費	94,038	94,038
費用合計：	19,029,173	21,245,792
正味財産増減額	414,013	(120,672)
期首正味財産	28,299,113	28,419,785
期末正味財産	28,713,126	28,299,113
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
◇支部リベート	3,567,754	3,887,206
◇Section Assessment	15,830,219	17,004,354
◇その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	-
◇受取利息	45,213	4,799
◇信越支部設立資金		228,760
◇雑収入(B)		1
収入合計：	19,443,186	21,125,120
II. 支出の部		
◇会合費	941,499	1,145,060
◇Publication Expenses		3,000
◇Student Branch支援費	842,550	1,100,350
◇Japan Councilへの拠出金	15,830,219	17,001,854
◇事務局費および一般管理費	1,320,867	1,432,490
◇設備備品		
◇信越支部設立資金	726,261	
◇50周年記念費		469,000
◇固定資産等購入		
支出合計：	19,661,396	21,151,754
現金・預金増減額	(218,210)	(26,634)
期首現金・預金残高	27,887,072	27,913,706
期末現金・預金残高(C)	27,668,862	27,887,072

(A) 2006年度のみ信越支部と合算 (東京支部：¥10,942,810 信越支部：¥226,261)

(B) 信越支部口座開設資金

(C) 東京支部：¥27,660,811 信越支部：226,261(2006年)

## 【参考資料】

## Japan Council 2007年会計報告（案）

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	決 算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	1,093,400	1,142,092	104	予算ではUS\$1=¥110を適用
・ Chapter Rebate	1,093,400	1,142,092	104	US\$9,715.50@¥114.56
◆各支部よりの拠出金	26,400,000	26,674,144	101	US\$230,435.87 平均@¥116.06
・ 札幌支部		367,947		前期分:US\$3,138.09 @¥117.73 手数料1500 (後期分: 次年度の前期に請求。)
・ 仙台支部		1,262,950		前期分: US\$10,794.45 @¥117.00 後期分: US\$187.01 @¥116.19 手数料1500
・ 信越支部		565,535		前期分: US\$4,855.00 @¥117.00 手数料2500 (後期分: 次年度の前期に請求。)
・ 東京支部		11,988,612		前期分: US\$102,466.77 @¥117.00 後期分: US\$3,707.18 @¥113.97
・ 名古屋支部		2,137,187		前期分: US\$18,2779.38 @¥117.00 手数料1500 (後期分: 次年度の前期に請求。)
・ 関西支部		-		
・ 広島支部		4,058,067		前後期分まとめて: US\$18,279.38 @¥117.00
・ 四国支部		866,725		前期分: US\$7,415.52 @¥116.88 (後期分: 次年度の前期に請求。)
・ 福岡支部		398,660		前期分: US\$3,405.03 @¥117.08 (後期分: 次年度の前期に請求。)
・ 福岡支部		-		
・ 福岡支部		1,166,626		前後期分まとめて: US\$10,237.16 @¥113.96
◆雑収入	2,000	32,260	1,613	
合 計	27,495,400	27,848,496	101	
支出の部				
◆事務局費	13,350,000	12,620,359	95	
・ 給料諸給	4,000,000	4,142,576	104	交通費/労働保険/所得税を含む
・ 臨時雇費	-	-	-	
・ 事務所賃借料	1,900,000	2,152,638	113	
・ 事務所設備費用	400,000	90,320	23	IT環境整備費など
・ 通信費	300,000	192,296	64	電話回線使用料、切手など
・ 交通費	100,000	3,870	4	
・ 事務用品費	150,000	113,474	76	
・ 事務機器レンタル費	1,200,000	953,368	79	コピー機・ファックス機/コピー使用料等
・ 支払手数料等	5,300,000	4,971,817	94	銀行手数料/会計監査費用/派遣社員費用など
◆会合費	2,500,000	2,515,225	101	
・ 理事会・各委員会費	2,000,000	2,110,923	106	参加旅費を含む、関西支部との交流費
・ その他会合費	500,000	404,302	81	
◆Section支援費	2,600,000	2,864,290	110	札幌、仙台、広島、四国、福岡、名古屋、関西各支部
◆Chapter支援費	7,593,400	6,307,166	83	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	1,185,531	59	SAC Workshop開催費用・参加旅費等
◆WIE支援費	750,000	388,436	52	
◆信越支部設立支援金	500,000	500,000	100	
◆予備費	500,000	0	-	
合 計	29,793,400	26,381,007	89	
収 支	-2,298,000	1,467,489	-	
◆前年度繰越金	23,148,692	23,148,692	100	
◆次年度繰越金	20,850,692	24,616,181	118	

## V 2008 年 活動計画(案)

### 1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(9支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 2. ボストン支部、ソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、最初の交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画中である。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 3. 委員会活動

#### 3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東大、東工大、慶大、明治大学、横浜国大、武蔵工業大学、東京電機大学の 7 校で、日本全国の学生ブランチはその他、北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大、名古屋大があり(全国合計 18 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、ブランチ間交流を推進する。

#### 3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committee の活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。

#### 3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2006 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

#### 3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

#### 3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

以上

## V 2008 年 活動計画報告

### 1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(9支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 2. ボストン支部、ソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、最初の交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画中である。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 3. 委員会活動

#### 3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東大、東工大、慶大、明治大学、横浜国大、武蔵工業大学、東京電機大学の 7 校で、日本全国の学生ブランチはその他、北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大、名古屋大があり(全国合計 18 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、ブランチ間交流を推進する。

#### 3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committee の活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。

#### 3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2006 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

#### 3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

#### 3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語) を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

以上

## VI IEEE東京支部2008年予算（案）

単位：日本円

	2008年予算案 (1/1～ 12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	18,025,000	予算は US\$1=¥103を適用
・支部リポート	2,884,000	US\$28,000 (Gross) を想定
・Section Assessment	15,141,000	US\$147,000 (Gross) を想定
◆雑収入	40,000	受取利息等
収入合計	18,065,000	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	15,141,000	Section Assessment全額
◆会合費	1,600,000	
・総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	会場費、謝礼金を含む
・理事会費	100,000	
・その他会合費	300,000	
◆Committee活動費	300,000	Tokyo Bulletin発行/HP制作費/MDC活動費
◆Student Branch支援費	1,000,000	
◆事務局設備費	300,000	ファシリティの新規購入、ソフト更新費用など
◆ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	350,000	前年度監査費用、銀行手数料等
◆予備費	500,000	Milestone関連他
支出合計	21,831,000	
収支	-3,766,000	
◆前年度繰越金	10,970,861	
◆次期繰越金	7,204,861	

## 2008年新Fellows Citaion

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	穴見 健治 Kenji, Anami	半導体産業研究所 (現 ルネサステクノロジ)	<i>for invention of the divided word line structure for high-speed, low-power logic and memory</i>
2	東京	萩本 和男 Kazuo, Hagimoto	NTT未来ねっと研究所	<i>for contributions to very large capacity optical transmission systems</i>
3	東京	伊部 英史 Eishi, Ibe	日立製作所	<i>for contributions to neutron-induced soft-error analysis for semiconductor memory devices</i>
4	東京	井上 嵩梓 Takeshi, Inoue	日本電気株式会社	<i>for contributions to bulk wave piezoelectric devices and applications</i>
5	東京	粕川 秋彦 Akihiko, Kasukawa	古河電気工業	<i>for contributions to high power semiconductor lasers as pump sources for optical amplifiers</i>
6	東京	亀田 壽夫 Hisao, Kameda	筑波大学	<i>for contributions to performance optimization methods for information processing systems</i>
7	東京	小山 二三夫 Fumio, Koyama	東京工業大学	<i>for contributions to semiconductor optical devices for broadband optical communications</i>
8	東京	久保田 啓一 Keiichi, Kubota	日本放送協会	<i>for contributions to HDTV compression and transmission systems</i>
9	東京	上田 裕巳 Hiromi, Ueda	東京工科大学	<i>for contributions to synchronous digital hierarchy transmission systems and optical access systems</i>
10	東京	矢野 薫 Kaoru, Yano	日本電気株式会社	<i>for leadership in development of digital transmission systems</i>
11	東京	安田 豊 Yutaka, Yasuda	KDDI	<i>for contributions to mobile digital satellite communication systems</i>



## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:
 

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.

3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $2/3$ ) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-----

- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

## 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋 3丁目 6番 2号 西新橋企画ビル 8階

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)

### 交通

- ・ JR 新橋駅 烏森口から徒歩 10 分
- ・ 地下鉄都営三田線 内幸町駅から徒歩 6 分

